

なんだ・かんだ

◆ 出生率 ◆

先月末、総裁選で安倍晋三首相の無投票での再選が正式決定した後、首相は記者会見で「アベノミクスは第2ステージに移る。『1億総活躍社会』をめざす」と述べ、『新三本の矢』として「強い経済」「子育て支援」「社会保障」の3分野を重点的に政策を推進する考えを示しました。

その中で、「待機児童ゼロを実現し、幼児教育の無償化もさらに拡大するなど子育てに優しい社会をつくり上げ、また、不妊治療に対する政策により、「現在は1.4程度の出生率を1.8程度に回復させる」と表明しました。

しかし、この目標達成には相当厳しい現実があります。2014年現在、50歳を超えて一度も結婚した経験の無い割合をさす「生涯未婚率」は、男性22.7%・女性13.6%ということです。この数値は、このままいけば2030年に男性に到っては30%に到達すると言われていいます。この数値に離婚・死別の割合を加算すると、なんと中高年男性の約半数近くが、結婚できない(しない?)独身者という状態になります。

ちなみに、この生涯未婚率、1975年当時どうだったかという、驚くことに男性は1.3%でした。100人いけば約中99人が結婚できた時代だったということです。

また、厚生労働省の調査では、20~30歳の独身の男女が、将来的に子供を希望しない割合が10年前に比べて増加し、男女ともに10%を上回っているそうです。2013年の調査ですが、「将来何人子供が欲しいか」という設問に対し、「0人」と回答したのは、男性15.8%(10年前は8.6%)、女性は11.6%(7.2%)。全体で13.5%(7.9%)でした。ちなみに理由としては、「自由な時間が持たなくなる」「感じていることは特になし」「出費がかさむ」の順だそうです。自由な時間ってどんな時間なんですか?ゲームをする時間?

そんな中で少しだけホッとするデータは、既婚の男女にした欲しい子供の数を訪ねる質問で、一番多かったのは、「3人」で、全体の半数近くにのぼりました。10年前は「2人」が一番多かったそうです。

その他出生率の低下の原因は、結婚・出産の年齢が上がっていることとも関係しているそうです。昨年の平均初婚年齢は、男性が31.1歳、女性が29.4歳まで上昇しました。そして女性が第1子を産む平均年齢は1995年に27.5歳だったのが、30.6歳となり、過去最高だった前年(30.4歳)を上回っています。

第1子の出産年齢が上がると、第2子以降の出産も減る傾向にあり、2014年の第2子の出生率は5年ぶりに低下しました。晩婚化や晩産化が一段と進んだことが出生率を押し下げた可能性が高いと考えられるそうです。

先週末の先輩方との話の中で、数人の方から「子供の結婚相手を紹介してよ」という話が出ました。また、先ごろ出席した結婚式では、新郎新婦共に平均初婚年数を上回っていました。私の回りの現実も統計を映し出しています

基本的には、まずは結婚しなければ子供は出来ない訳で、前述の「生涯未婚率」の低下に歯止めを掛け、早婚化の流れを作らなければ出生率の上昇は望めません。やはり必要なのはおせっかいお婆さんでしょうか!?



■ 高速シートシャッター「門番」 ■

○出入り口の開閉で空調効率が悪い。○工場内にホコリ・虫が入って困る。○屋外の湿気が工場内に入って困る。○冬場の防寒対策をなんとかしたい。○工場の中を見られたくない。そんなお悩みをお持ちの工場管理者の方、高速シートシャッター「門番」をご検討下さい。

高い気密性と高速開閉により、○空調効果アップ! ○工場内へのホコリをシャットアウト! ○防虫シートで虫を寄せ付けない。○湿気のある空気も遮断。○防寒対策抜群、室内は明るく快適。お問合せは当社担当へ!

スポーツの秋

10月も末になり、朝晩はだいぶ涼しくなってきましたが、昼間はまだまだ汗ばむ様な陽気が続いています。昨年からクールビズも10月一杯まで継続するようになりました。彼岸を過ぎても暑い日が続くのは温暖化のなせるワザですね。

さて、とは言え、10月に入ってそこかしこに秋の気配を感じるようになって参りました。秋と言えは、スポーツの秋!今年もVOL.106なんだ・かんだでご紹介させて頂きました。狩野川レガッタが近づいて参りました。

この練習の為に、休日は1日中川へ出て「一般参加者の方に漕ぎ方を教えたり、先輩や後輩達と取り留めのない話をしながら、お弁当を食べたりと一見優雅な時間を過ごしました。しかし内情は、準備の為に重い艇やオール等を担いで、何度も堤防の上り下りを繰り返して、おまけに天気が悪かったので、紫外線に長時間当たっていたので練習が終わるともうぐったり。それでもこの疲れもお風呂に入ると心地のよい充実感に変わり、食事も美味しく、夜もぐっすり寝ることが出来て、結果的に大変健康的な週末を送ることが出来ました。やはり秋は良いですね。

代表取締役 服部敬一郎

社員ブログ

● 爆弾低気圧 ●

建設部 森 直子

自宅の目の前が広い分譲地となり、たくさんの新築住宅の工事がほぼ同時に始まりました。新しいお家はいいなーと思いつつ、地元の工務店や、設計事務所、大手住宅メーカーなどの手がける工事の様子を毎日眺めていました。

基礎工事が終わり、同時に5、6棟の建物が建方を行った直後、先日の爆弾低気圧による、雨と風のすごい日がやってきました。朝起きて窓から見てみると、たくさんの資材が飛ばされ、仮囲いが倒れ、建方が済んで間もない住宅の屋根や壁の下地の防水シートは全て剥がされ飛ばされており、周辺の家へも色々な物が飛散した様子でした。

その中で1棟だけ資材も飛ばず、建物も仮設足場も養生もまったく変わらない家がありました。現場の管理がきちんとされているのか、その違いは一目瞭然でした。そんな様子を見ると、同じ建設工事を請け負う立場として、見習わなければならないなと思いつつ、お客様に対し、資材などが飛散してしまったのは予想外の突風だったので仕方がない...などの言い訳はできないなあと感じました。会社として、監督として徹底されている現場管理にさすがだなあと感じた爆弾低気圧後の現場でした。



本レターのご提供に付きまして、ご不要・ご迷惑という方に付きましては、その旨ご一報頂きたいと思っております。次回からの発送を中止させて頂きます。

・ 株式会社チキリ

静岡県駿東郡清水町卸団地 73

Tel 055-971-9610 Fax 055-973-1534

E-mail gen@chikiri.com

URL <http://www.chikiri.com/>